

# 平成 21 年 1 2 月定例議会

平成 21 年 1 2 月 8 日（火）

## 村長 提案説明

本日ここに、平成 21 年朝日村議会 1 2 月定例会を招集いたしました所、議員の皆様方にはお揃いでご出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。

始に、去る 1 1 月に行われました 朝日村議会議員補欠選挙によりましてご就任されました、村沢由人議員、中村三好議員に改めてお祝いを申し上げます。

なお、前任者の残任期間となりますが、村民福祉の増進の為、ご尽力を賜りますようご期待を申し上げます。

それでは、提案説明に先立ちまして、当面している課題等につきまして若干申し上げます。

まず、感染が拡大しております、新型インフルエンザ対策についてでございます。

厚生労働省によりますと、一昨日感染者の死亡者が国内で 1 0 0 人となった発表がされました。今迄の季節性インフルエンザでは毎年約 1 万人が死亡するとされておりまして、これから本格的な冬に向け流行がどのように進むのかわからない状況であります。県は、去る 1 1 月 1 8 日に県全域にインフルエンザ警報を出しまして、注意を呼びかけております。

当朝日村といたしましては、機会ある事に申しあげておりますが、健康づくり担当を中心に取組みをいたして来ておりまして、予防ワクチン接種につきましては、今だ全ての皆様に供給できる状況ではありませんので、国、県の方針に基づき、既に全家庭にお知らせした順序でワクチン接種を進めている所でございます。

そこで、各家庭におきましては、各人が「かからない」「ひろげない」と言う自覚のもとに、手洗い、うがいの徹底を、そして、くしゃみの症状がある方等は、マスクを着用するなど、家庭で各自で予防対応をお願いするものでございます。

そして、村民の皆様には、引続き新しい情報に注意していただき対応についてご理解ご協力をお願い申し上げます。

次に、工場誘致についてでございます。

懸案でありましたカンロ(株)の工場建設につきましては、当初計画が、世界経済の急激な変化に伴いまして、大幅に遅れておりました。

過日、カンロ(株)の専務取締役及び生産部長が来村し、来年、平成22年に1期工事を行い、平成23年の早々には、本格稼働を旨としてグミキャンディ工場の操業予定とお聞きいたしました。

現在の国内経済状況を勘案いたしますと、今回の計画が予定通り進められ、村民の皆様の働く場所が確保される事に期待をするものでございます。

また、この事により、課題となります工場処理排水の対応につきましては、下流域であります松本市、及び今井地区、奈良井川漁業組合等との話し合いに、全面的なバックアップを図ってまいり所存でございます。

次に、中信平土地改良区連合及び右岸土地改良区の現状について申し上げます。

東京電力が梓川上流に3ヶ所のダムを建設し、水力発電計画を進めた同時期、梓川の水の有効利用と、食料増産計画により、国、県の指導のもとに、昭和39年中信平右岸土地改良区を発足し、受益面積2,500ha余の農地整備に取り組みました。

当初朝日村は、当初計画では該当地区外でありましたが、昭和40年代前半に、朝日村が受益地域に加入することができ、国の進める農地整備構造改善事業の後、畑灌施設の整備を進めて来ております。

その後、畑灌施設の老朽化に伴い、平成5年から平成20年に掛けて、担い手畑総事業を取入れ、畑灌施設の更新及び道路、排水路等の整備を行い、古見原、西洗馬原につきましては、今や全国に誇れる農地となりました。

また、中信平に給水しております梓川頭首工は、戦時中の建設物でありまして、60年以上経過し老朽化のため、平成20年度農林水産省の直轄事業として改修をされました。

この、国の事業につきましては、国営中信平2期農業水利事業として、総事業費180億円を投入し、平成17年度から25年度までの計画となっております。

今後は、幹線用水路、調整池の改修等を進めるものでございます。

特に、この計画の中で、クリーンエネルギー対策として、また、水の有効利用を図るため梓川の左岸、旧梓川村地籍に、出力530kwの小水力発電所を設置する計画となっております。

当初朝日村におきましては、平成20年度で担い手畑総整備事業が終了を

いたしましたが一歩未整備箇所が残っておりまして、本年度国の農地有効利用支援整備事業を取入れまして、村が負担をいたします事業費の50%につきましては、本年度、国の一次補正予算でありました、経済危機対策事業を充当し、古見原、西洗馬原を中心に23ヶ所の道路、排水路等の補完工事を進めております。この事業につきましては、7月の臨時議会で議決をいただき、事業費総額4,400万円で取組んでいるところでございます。

いずれにいたしましても、当朝日村といたしましては、水利権のない梓川の水により、農地を潤し朝日村の農業が県内有数の野菜産地となっております事は、当事業が進められました時に、水利権のある梓川土地改良区の皆さんの広い心と先駆的な取組みに感謝を忘れてはならないものでございます。

なお、梓川土地改良区連合に加盟しております5団体の総受益面積は10,700haとなっております。

次に、申しあげる時期としては少々早いのですが、村民の皆様への周知及びご理解をいただくため、新年度、平成22年度に向けた取組みについて、一部申し上げます。

まず、今定例会に条例改正をお願いしてございますが、上水道料金の10%引下げと、下水道料金の10%引上げについてでございます。

下水道施設につきましては、ご案内のとおり県内自治体ではトップで全村普及を施工し、快適な生活の一助を担っている所でございます。しかしながら、使用料をいただいております水道、下水道につきましては、特別会計での対応をいたしておりまして、特に、下水道会計につきましては、使用料収入は下水道会計収入の40%と低く、県から指摘をされている所でございます。

そこで、単純に下水道料金の値上げをすれば良い訳ですが、現在の社会経済動向は、極めて厳しく、先の見えない状況を踏まえますと、極力村民の皆様への負担増にならないために、水道料金の値下げに踏切ったものでございます。この事は、過日、上下水道事業運営審議会において、ご審議願ひ、答申をいただいたものでございまして、今回条例改正をお願いするものでございます。

次に、子育て支援についてでございます。

先の見えない厳しい社会経済環境は、子育て時期に、時代の流れも含め、両親の共稼ぎが多い現在、当村の小学生については、放課後児童クラブの

対応のみでございまして、他市町村が取り組んでおります子育て支援の児童館的な取り組みが遅れているのが実態でございます。

そこで、本年度教育委員会において仮称でございますが、児童館検討委員会を設置し、教育委員会、小中のPTA、保育園及び入園前の保護者会、民生児童委員等関係する皆様の参加により、研究、検討を進めている所でございまして、新年度には、現在の老人福祉センターを利用し、村内の子供さん全員を対象とした、子育て支援対応を図ってまいりたいと考えております。

次に、議員の皆様から一般質問の際ご指摘をいただいております、多目的施設の有効活用につきましては、今年度リニューアルを行い、新年度に健康づくり担当の拠点として村民の皆様健康診断の場所とするなど再生してまいる所存でございます。

なお、現在休止しております喫茶店につきましても、村民の憩いの場、団らんの場として再開するため、一般公募により近々に営業者を募ってまいる予定でございます。

次に、最近の明るい話題を申し上げます。

去る11月上旬に、長野市で開催されました第19回信州の味コンクールに、当朝日村の特産品を考える会が出品した「柿そーす」が優秀賞にあたる農村生活マイスター協会会長賞を受賞いたしました。

特産品を考える会の皆さんは平成16年から村からの補助制度から独立し、活動されておまして、正に民間活力のモデルでございまして、この素晴らしい賞を励みに会員の皆さんの益々のご活動、ご活躍、ご発展を村民の皆様と共に期待をするものでございます。

それでは、只今上程されました議案につきましてご説明を申し上げます。

本日、提案いたしました議案は条例3件、予算5件の計8件でございます。

まず、条例3件につきましては、それぞれ条例の一部を改正するものでございまして、有線テレビサービスのスターチャンネルの配信事業者からの料金改定に伴いますものと、先程申しあげましたが、現行の水道料金を10%引下げ、下水道料金につきましては10%引上げるものでございまして、所要個所の条例を改正するものでございます。

次に、補正予算についてでございます。

まず、朝日村一般会計補正予算(第6号)につきましては、規定の予算

の総額に歳入歳出それぞれ1億7,469万を追加し、予算総額を28億6,321万円とするものでございます。

次に、朝日村国民健康保険特別会計補正予算につきましては、一般被保険者療養給付費の増加に伴うものでございます。

また、朝日村介護保険特別会計補正予算につきましては、保険給付費の増加に伴うものでございます。

次に、朝日村簡易水道特別会計補正予算及び朝日村下水道特別会計補正予算につきましては、当初予定しておりました起債の借り換えを、それぞれ繰上げ償還に変更することによる財源振替でございます。

以上、本日提案いたしました議案等について、ご説明を申しあげましたが、担当課長及び担当者から補足説明をいたしますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。